



さくら湖だより

発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所
〒963-7722
福島県田村郡三春町
大字西方字中ノ内403-4
TEL.0247-62-3145



青空に映える春田大橋

さくら湖のシンボルである春田大橋は、平成6年7月20日供用開始から今年で10年を迎えます。



今月の
お知らせ

森と湖に
親しむ

さくら湖自然教室2004

さくら湖自然教室は、森と湖に親しむ旬間（7月21日～7月31日）の一環として森と湖実行委員会（三春ダム管理所・郡山市・三春町・船引町）が毎年行っているイベントで、さくら湖周辺の自然を体験し、水辺に親しみ、川と水質保全の大切さについて関心を高め理解を深めてもらう事を目的として行っております。今年も郡山市・三春町・船引町からの応募者約160名で7月25日に行うこととなっており、初夏のさくら湖に子供たちの歓声が響き渡ることと思います。



三春ダムの特徴

No.13

水質保全対策
(前貯水池)



4つの「前貯水池」

三春ダムは、洪水を防ぐだけでなく、水道用水や工業用水、かんがい用水の供給も行っています。しかし、ダム湖の水質が悪ければ、安全でおいしい水をみなさまに届けることが出来ません。そこで三春ダムでは、水質を保持するために、様々な水質保全対策を実施しています。

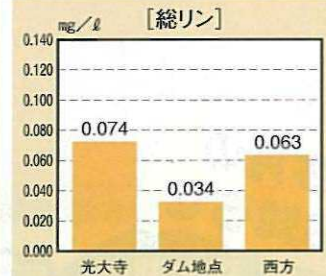
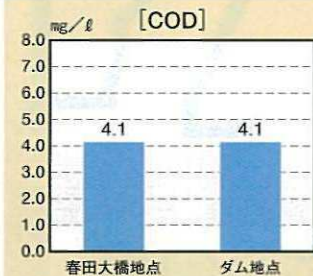
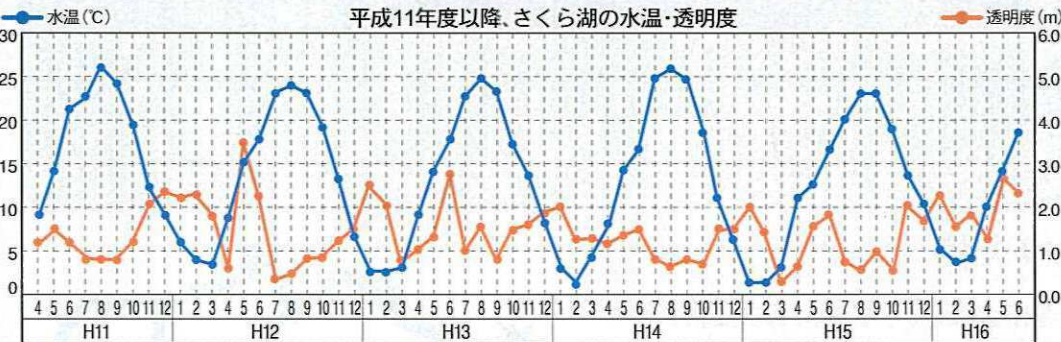
さくら湖の上流部に前ダムを設けて、河川をせき止めることによって流速を抑え、流入してくる植物プランクトンの栄養となる窒素やリンを河川水に含まれる土砂などと一緒に前貯水池内に沈殿させ、さくら湖への流入を減らす事が出来、カビ臭や、浄水場の濾過装置などの目詰まりの原因となるアオコの増殖を抑制しています。



蛇沢前貯水池
(手前がさくら湖)

水質の状況 (平成16年6月15日現在)

三春ダム管理所では、さくら湖や大滝根川の水質を定期的に観測しています。



■COD (化学的酸素要求量)
コイ・フナ類が生息するためには5mg/ℓ以下が適当とされています。
※全層平均値

■BOD (生物化学的酸素要求量)
大滝根川では2mg/ℓ以下とされています。また、コイ・フナ類が生息するためには5mg/ℓ以下が適当とされています。

■総窒素
一般に窒素が0.15mg/ℓ以上であると富栄養化するとされています。

■総リン
一般にリンが0.02mg/ℓ以上であると富栄養化するとされています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をお待ちしています。

郵便またはFAXで 〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX 0247-67-3170

■インターネットでも、さくら湖だより・さくら湖管理ニュースを見ることができます。
ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>



お願い ダム下流での釣り、水遊びなど河川利用される方は、気象情報・放流情報に十分注意をお願いします。

- 郡山東I.Cから車で約15分
- 郡山駅から車で約20分
- 三春駅から車で約10分